

脱炭素先行地域



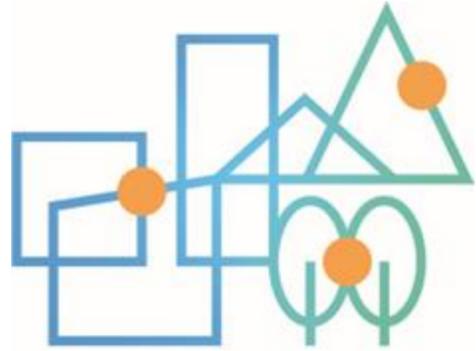
匝瑳市の脱炭素先行地域計画

そうさ！匝瑳モデルで脱炭素！

～ソーラーシェアリングを中心とした脱炭素化推進プロジェクト～

匝瑳市・匝瑳みらい株式会社





脱炭素先行地域



匝瑳市のプロフィール

01

- 難読地名の東の横綱 だった？
- 匝は訓読みで“めぐる”と読み
瑳は訓読みで“あざやか”と読む
- 読めない 書けない どこにある

全国難読市ランキング 読めますか？	
1位	長野県 東御市 人口 4万9417人 名産 くるみ・巨峰・ワイン 出身者 土屋圭市(ドライバー)
2位	千葉県 匝瑳市 人口 3万6179人 名産 赤ピーマン・大浦ごぼう・そうざまん
3位	兵庫県 宍粟市 人口 3万5002人 名産 手延べそうめん「担保乃糸」 出身者 細川伸二(漫画)
4位	石川県 羽咋市 人口 2万515人 名産 UFOパフェ・岩ガキ 出身者 寺島拓篤(声優)
5位	山口県 下松市 人口 5万6634人 名産 牛骨ラーメン・笠戸ひらめ 出身者 魚谷香織(声優)
6位	熊本県 合志市 人口 6万1531人 名産 マンゴー・スイカ・キュウリ 出身者 うすた京介(漫画家)
6位	秋田県 鹿角市 人口 2万9727人 名産 きりたんぼ・南部せんべい 出身者 奥寺康彦(サッカー) 浅利純子(声優)
8位	島根県 江津市 人口 2万3372人 名産 桑茶・石見焼 出身者 七田眞(漫画家)
9位	大分県 杵築市 人口 2万8476人 名産 カキ・きつき茶・マルキショウ油 出身者 平石洋介(声優)
10位	奈良県 御所市 人口 2万4965人 名産 サングラ・くずもち 出身者 堺屋太一(作家) 吉村積重(声優)

○植木産業

植木の生産農家数、栽培面積、品種ともに日本屈指。

千葉県が認定する「植木伝統樹芸士」と「植木銘木100選」の半数以上が匝瑳市の植木職人と植木銘木。



赤レンガ駅舎と匝瑳市の植木(東京駅)

○稲作を中心とした農業

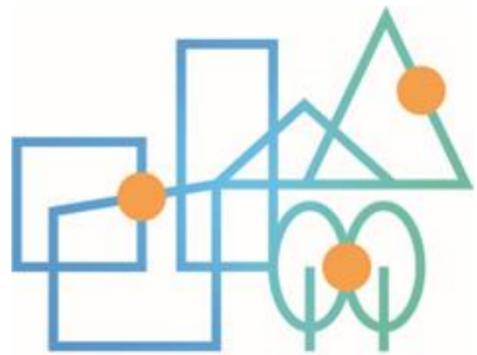
里山から九十九里海岸まで広大な田んぼや畑を有し、農作物の生産がさかん。

お米の生産量は千葉県内で第3位



02

「脱炭素先行地域」申請へのアプローチ & 匝瑳市と匝瑳みらいの連携



脱炭素先行地域



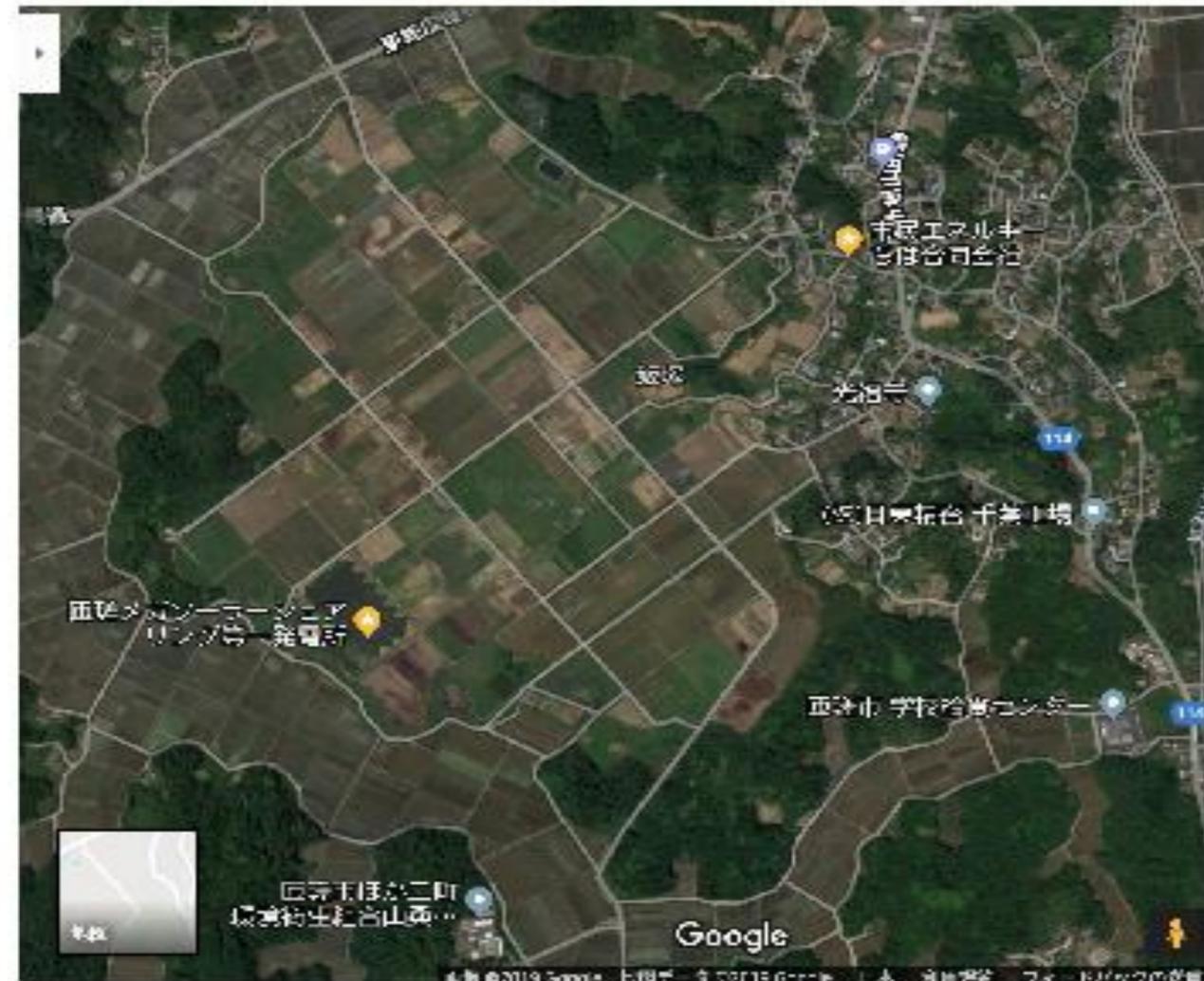
02

開畑地区の変遷

国土地理院空中撮影写真1975年1月6日



GoogleMap2019年3月27日



- ◆山を削った畑であることから痩せていて水捌けが悪いので野菜などの栽培は難しい。煙草が栽培されていた時期もあったが、その後は耕作されない畑が増加。
- ◆相続等により市街や県外の地権者が増加し、未管理地が増加。中には相続放棄された畑も。

牛や豚の糞の捨て場、耕作放棄や産廃の捨て場に



1aに2t車で10台も！



大量の「堆肥」で**土壤汚染**



広がる**耕作放棄地**と**不法投棄されたゴミ**



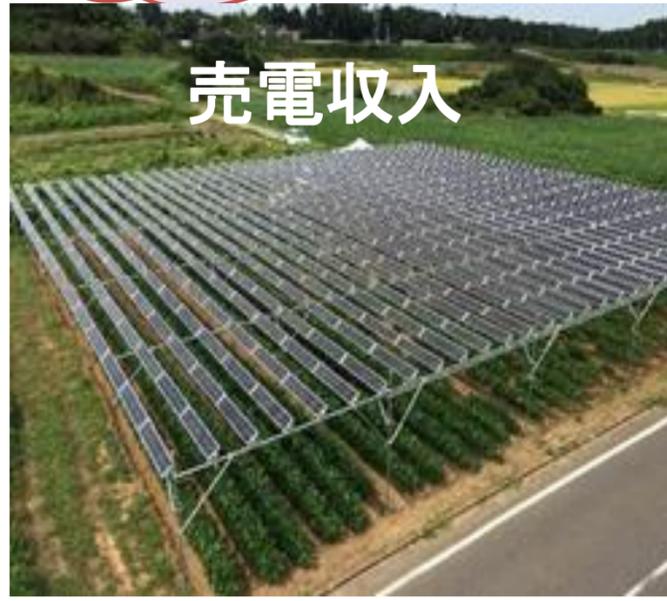
厚さは**15~20cm**にも





- ◆幅36cm、長さ1.9mの細型パネルで風と雨だれの影響を最小限に
- ◆パネルまでの高さは、3～3.5mで支柱間隔は、4～5mで大型農業機械も使える
- ◆営農者の耕作を考え、発電よりも農業重視の設計を一緒に進める

匠瑛モデル



売電収入

農業支援
8万円/10a

設備下の
営農者

- 安定した農業経営の実現
- 魅力ある農業
- 有機栽培など新たな農業へのチャレンジ
- 新規就農の拡大
- 耕作放棄地の解消

魅力的で活力ある
地域の存続

持続可能な社会

村づくり基金

毎年400万円
設備が増える
ごとに増加

- 豊和村づくり協議会
- 地域代表(各区長)
 - 土地改良区
 - 環境保全会
 - 小学校・保育所&PTA
 - 地域の団体&NPO
 - 農業委員等
 - 市民エネルギーちば

- 基金を活用した取組
- 耕作放棄地の再生
 - 地域の環境保全活動
 - 地域の活性化・振興
 - 新規就農者や移住者支援
 - 子供たちの育成・支援

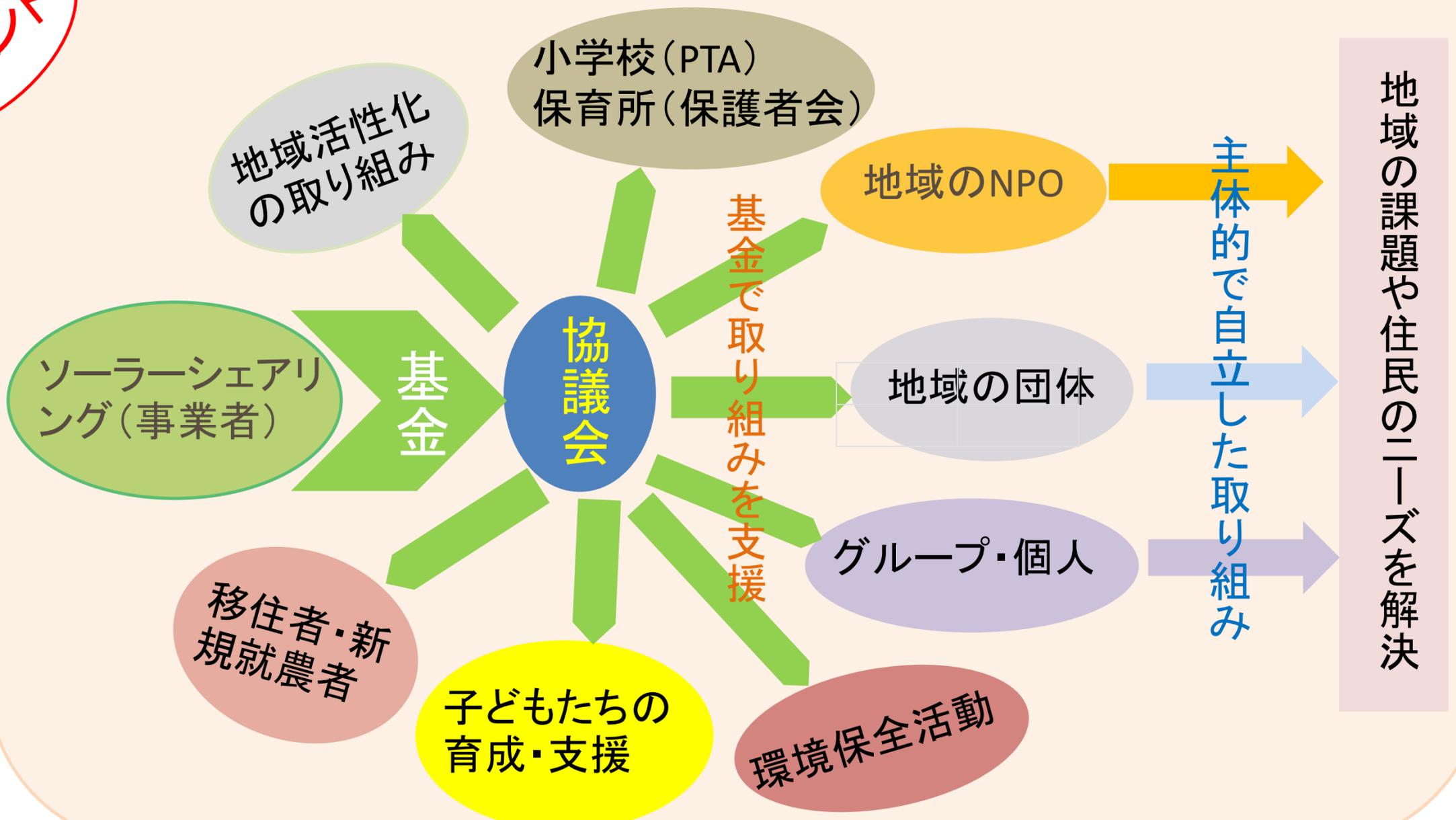
将来は500万円

ソーラーシェアリング発電設備
 ★畑の上で発電、下で農業
 ★自然を壊してつくる「メガソーラー」の対極にある自然と共存するソーラー発電

村づくり基金を活用した取り組み

地域の人たちが取り組み、基金が支える

ポイント



「原発マネー」と何が違うの？

	原発マネー	村づくり基金
資金の出所	税金	設備の売電収入
受取側	自治体	地域
使い道の決め方	自治体が決める	地域で協議して決める

村づくり基金を活用した取り組み



不法放棄されたゴミの処理



保育所のコンサートを支援



こども教室への助成



小学校へPCモニター寄贈



地域づくりを考える集い
移住者や移住を考えている
人たちも参加



豊和地区社協の高齢
者交流事業への助成



地域脱炭素ロードマップ 2021年6月

- エネルギーの地産地消＝地域循環経済で地域の活性化
- 再エネ拡大をつうじて地域課題の解決につなげる
- 地方での脱炭素化の重要性と実現のポテンシャルの高さ
- 匝瑳市のソーラーシェアリングを「地域裨益型再エネ」として紹介

地域の課題と実情

- 少子高齢化、人口減少などによる地域衰退の進行
- 地域課題の深刻化と解決の難しさ、必要性
- 地域の衰退への危機意識
- 脱炭素先行地域の取組で持続可能な地域実現の可能性

「ゼロカーボン匝瑳協議会」結成 2022年3月

＜協議会メンバー＞

- 再エネ事業者
- 地域電力会社
- 地銀、信用金庫
- 市会議員
- NPO団体や個人

○市議や匝瑳市への働きかけ

○セミナー等による市民への働きかけ

○思いを同じくする市職員との連携

問題意識を持った人の連携で実現

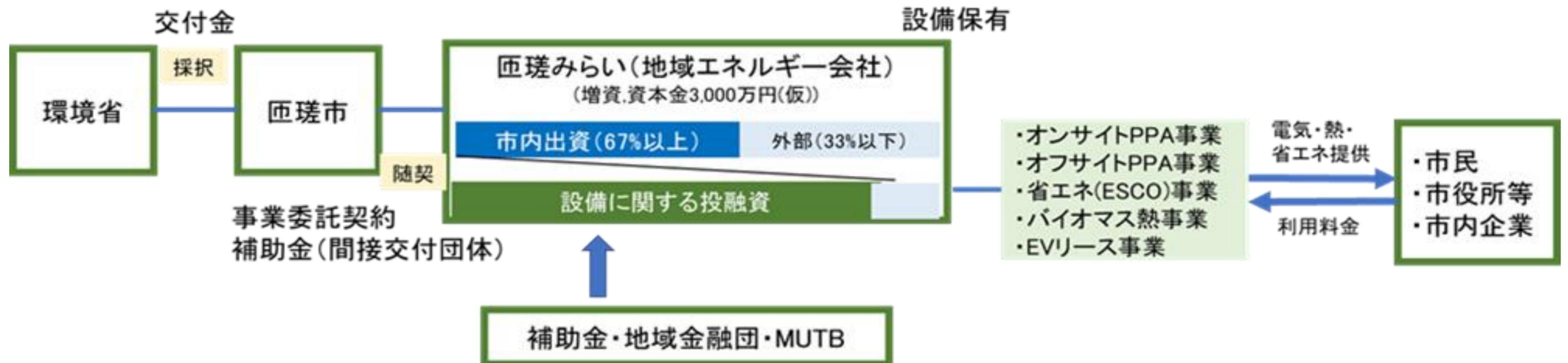
市と一体になって計画作成

2年越しで採択実現

2030年度以降も市域全体で脱炭素化を進め、
匝瑳を住み続けられる地域に！



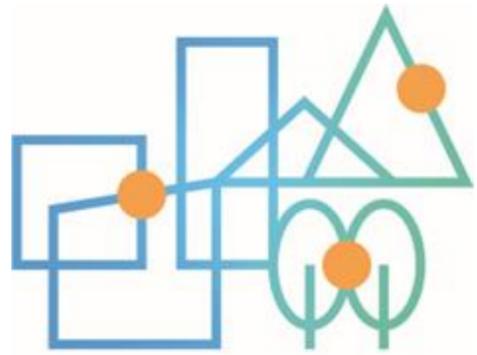
○事業の運営スキーム



- ・ 匝瑳みらい株式会社(2023年4月に設立)が間接交付団体として事業を実施
- ・ 匝瑳市から匝瑳みらい株式会社へ300万円出資

03

ソーラーシェアリングの今後の展開



脱炭素先行地域



農業（稲作、植木産業）の活性化

営農型ソーラーシェアリングによる収益（利益）向上

- 畑作営農型ソーラーシェアリングで培った細型パネルの技術や設置、運営ノウハウを活用し、新たに**水田営農型ソーラーシェアリング**を展開
- 収益性の低い稲作に売電収入（耕作委託金）が付与されることにより、稲作農業の持続可能性を高めていくモデル「**匠瑳モデル**」を構築



農業（稲作、植木産業）の活性化

ソーラーシェアリング・アカデミー事業

■ ミッション

- ・ 農業×エネルギー×地域づくりを学び、**実践や起業を担える人材を育成**
- ・ **他領域にわたる理論と実学**を学べることができ、研究と実践ができる機関を目指す

■ 基本的な機能

ソーラーシェアリングに関する

- ・ 学習と実践を通しての学び
- ・ 研究とイノベーションと起業の拠点
- ・ 国内外の共同研究と相互フィードバック
- ・ 国内外の人と知のネットワークの拠点



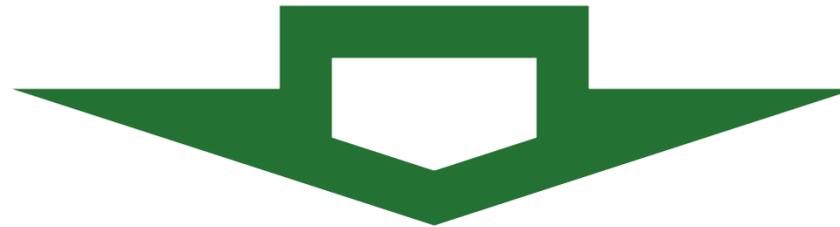
令和6年度には、貴20団体、
400名ほどの視察受け入れを実施

農業（稲作、植木産業）の活性化

営農型ソーラーシェアリングに取り組む自治体との連携

既に脱炭素先行地域に選定された自治体（滋賀県米原市様、熊本県あさぎり町様、新潟県関川村様）と営農型ソーラーシェアリングに関する**連携協定**を締結。

（東京都江戸川区様と再生可能エネルギーの活用を通じた**連携協定**を締結。）



技術連携、共同調達等でスケールメリットを発揮し

全国的な営農型ソーラーシェアリングの普及に寄与し

さまざまな自治体とも連携して行きたい。